

まつお かな  
松尾 夏那さん

(北陸高3年)



# 豪雨被災地に恩返しを

西日本豪雨による被害は自分か想像していた数十倍も大きかった。新聞やニュースで被災地の様子をただ見ていることしかできなかった。しかし、県内に被災地で

## 今は福井が助ける番

舞鶴に県内ボランティア



「大雪の恩返し」豪雨経験生かす

### 泥かき奮闘



舞鶴市舞鶴地区の被災地を訪れたボランティアの活動の様子が写っています。泥をかき除く作業が行われており、ボランティアの協力により復旧作業が進められています。

ボランティアにあたっている人たちがいることを知った。県庁からバスが出ており、京都府舞鶴市に向かい、泥かきや家財道具の運び出しを行う。インフラの復旧が進まない今、被災者が元の生活に戻るのはまだまだ時間がかかりそうだ。記憶に新しい半年前の大雪。スパーからは菓子パンやカップ麺が消え、ガンリンスタンドのガンリンは底をついた。あの時、県外からたくさんの方々が支援物資が届き、たくさんの方がボランティアに駆けつけてくれたことを覚えている。県外の方々の助けがなければ復興にはもっと時間がかかっていただろう。実際に被災地を訪れ、ボランティアを行うことは、私たちができる一番の恩返しではないだろうか。被災地が一日でも早く復興できるように私も参加したいと思う。